

ボッチャ

《ルール・審判マニュアル》



平成30年10月 制定

柏崎市スポーツ推進委員協議会

ポッチャとは

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。

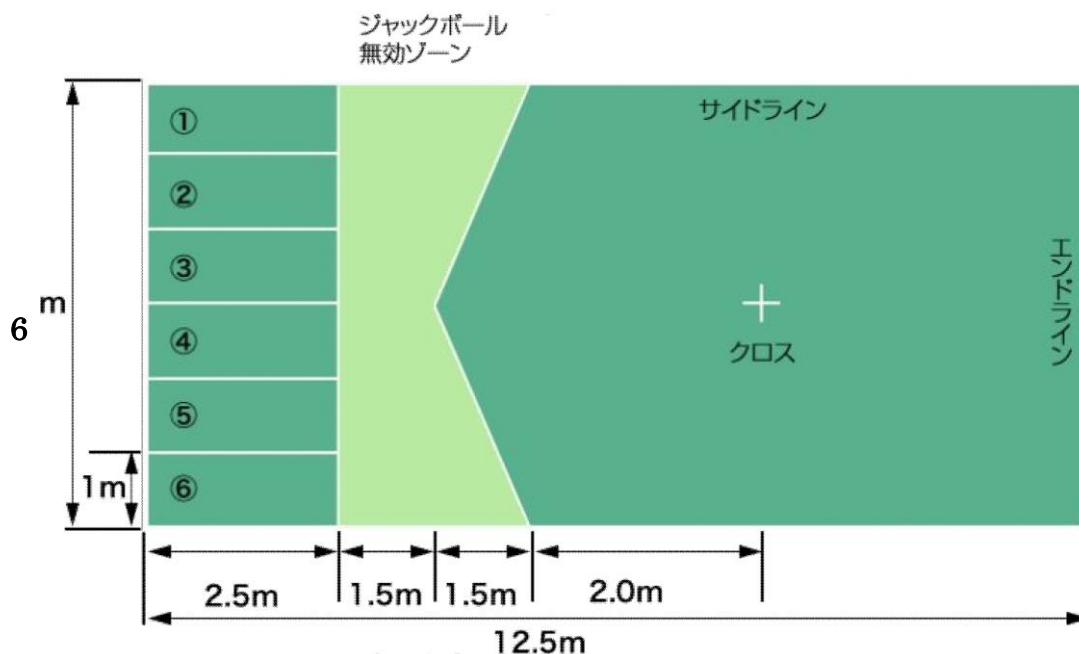
1. コート・用具

1-1 用具

- ① ポッチャ専用ボール（赤6・青6）
- ② ジャックボール（白1）
- ③ ライントープ
- ④ 巻尺（12.5m以上）・（3.5m 距離判定用）
- ⑤ 得点記入用紙・筆記用具・バインダー

1-2 コート説明

【コートの広さ及び名称】



2. 試合開始前準備

【チーム編成】

- ① ペアは1チーム2名、団体は1チーム3名。
- ② 男女構成及び年齢は自由。

3. 競技方法

2-1 競技説明

- ① シングル戦・ペア戦・チーム戦に関わらず同じサイズのコートを使用し、選手が投球する位置は決められています。

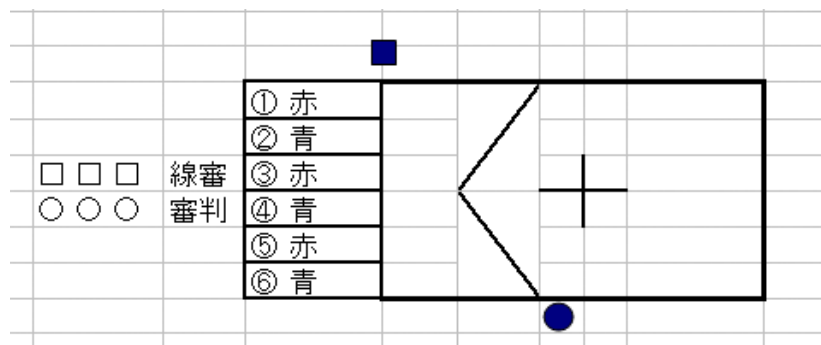
シングル戦	③ と ④	4エンド行う	制限時間	4分/エンド
ペア戦	② から ⑤	4エンド行う		5分/エンド
チーム戦	① から ⑥	6エンド行う		6分/エンド

- ② 制限時間をオーバーした場合は、残っているボールは無効となります。
- ③ ボールは シングル戦・ペア戦・チーム戦ともに6球ずつ 使用します。

2-2 試合の流れ

①コート外で整列する。

スローインボックス後方に両チーム向かい合い整列する。



② あいさつ 審判が『〇〇チームと□□チームの試合を始めます。』とコールする。

③ ジャンケンで先攻・後攻を決める。勝ちが先攻で赤ボールを使う。

④ 選手は赤①から青⑥のスローイングボックスに入る。

⑤ 審判はサイドライン中央付近●に立つ。

線審は審判とは反対側のスローイングボックスの前ライン横■に立つ。

⑥ 審判が『ジャックボール』のコールとジェスチャーにより競技開始。



⑦ 赤①がジャックボールを投げる。

審判は有効エリアに投げられたことを確認後、赤①とコールする。

⑧ 赤①が赤ボールをジャックボールに近づけるように投げる。

審判は 青②とコールする。

⑨ 青②が青ボールをジャックボールに近づけるように投げる。

⑩ ジャックボールから遠いチームから次のボールを投げる。

⑪ エンド中に同距離となった場合は、後に投げたチームが投げ続ける。

⑫ 両チームがそれぞれ6球投げ終わった時点で1 エンド終了となり審判は得点を決める。

⑬ 6エンドまで試合を進め、勝敗を決定する。

3-3 注意点

- ・ ジャックボールに遠いチームが近くなるまで同一チームが投げる。
- ・ 各チームが6球投げ終わった時点で 1 エンド終了となり得点をつける。
- ・ 1 エンドごとにジャックボールに近いボールの数だけ得点となる。
通常、1 対 0、2 対 0 となるが 同じ距離の場合は1 対 1、2 対 1 となる。
- ・ 第2エンドは青②が先攻となりジャックボールを投球する。
- ・ エンド終了後、審判は選手立会いのもと得点を決める。

選手は得点決定後、次エンドのためにボールを回収し準備する。

- ジャックボールが無効ゾーンまたはエンド・サイドラインを外れた場合は 次順の他チームが投球する。
次エンドはジャックボールを投げる元の順番に戻る。
- オンラインはデッドボールとする。デッドボールはエンドラインの外側に数量がわかるように並べる。
- 競技中にジャックボールが無効エリアに出た場合、ジャックボールをコート中央のクロスに置く。投球の順番はジャックボールとの距離が遠い方から投げる。
- 選手の交代は1試合で1回・ひとり のみです。
- すべてのエンドが終了時点で同点の場合は、タイブレークを行う。
 - ① ジャンケンで先攻・後攻を決める。
 - ② ジャックボールはコート中央のクロスに置く。
 - ④ 通常のエンドと同様にお互いのボールを投げ合う。
 - ⑤ 全員がなげ終わり、距離の近いチームが勝ちとなる。
 - ⑥ 勝敗が決まるまで タイブレークを行う。

4. 反則

【投球ボールを除外される反則】

- ラインを踏んだり、踏み越えて投げたボール。
- 審判がコールする前に投げたボール
- 投球淳を間違えて投げたボール
- 制限時間を超えた時の未投球ボール

【ペナルティーとして2球取り上げるボール】

- 相手チームの投球動作に影響するような故意の妨害

5. 補足

審判が誤ってコート上のボールを動かした場合、線審と協議しできるだけ元の位置に戻す。審判は原状復帰が不可能な場合は、エンドをやり直すことができる。

ボッチャコートの寸法

